学校番号	T3015

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	(学)くらしの情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報化が進む社会においてパソコンの操作は必須スキルとなってきました。ここではWord,Excel,Power Point の基礎的な活用方法とインターネットを利用する上で必要となるマナーやモラルを学びます。

2　学習の到達目標

日々のくらしにおいて情報との関わりについての知識・理解を深め、くらしに役に立つ能力と技能を身に付ける。また、情報化社会に積極的に関り、主体的に活用する能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	データやネットワークの構成など情報端末を使用する際に必要となる知識について理解し、各ソフトウェアを取り扱う技能が身に付いている。	社会におけるデジタル情報を取り扱う際に周囲への影響を思考し、情報モラルや法令などを遵守した判断した上で、日常生活などにおいて情報という形で表現する事ができる。	情報社会において、周囲との関係や影響力、情報の真偽などを考察し、総合的に情報を取り扱う姿勢がみられる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報とメディア	社会生活と情報	a:インターネットの成り立ちについての知識を身に付け、端末を活用する技能が身に付いている。 b:デジタル情報をただしく取り扱う必要性を考察し 表現することができる。 c:情報がもつ力に関心をもち、それらを正しく使おうとする姿勢見られる。	課題 提出物	課題 小テスト	課題 観察
		情報の表現形式	a:デジタルデータにおけるデータ形式の概念を理解し、それらを適切に使い分ける技術が身に付いている。 b:場面に応じた最適なデータ形式を判断に、メディアを用いて適切にコンテンツを表現することができる。 c:悪意のあるマルウェアやウイルスソフトに用いられやすいデータ形式を理解し、情報セキュリティモラルを尊守する姿勢が見られる。	課題 提出物	課題 小テスト	課題 観察
後期	情報の取り扱い	情報デザイン	a:情報の利便性を理解し、それらを発信するために端末を用いて、デジタル情報を作成する技能を身に付ける。 b:その情報が社会にとって有用であるか否か思考し利便性の裏に隠れている有害性を判断することができる。 c: 画像、動画、音声などの情報を積極的に活用し、適切に取り扱う姿勢が見られる。	課題 提出物	課題 小テスト	課題 観察

		情報コミュニケーション	a:情報によるコミュニケーション手段の発達を理解し、適切な情報データを用いて他者とのコミュニケーションをとる技能が身に付いている。 b: 情報モラルや法令、他者への影響力などから発信する情報を思考し、それらに触れていないことを判断した上で、情報を表現できる。 c: 情報コミュニケーションの伝達手段によって社会の形式が現在進行形で変わっている事に関心をもち、情報社会の一員としてふさわしい態度を備えている。	課題 提出物	課題 小テスト	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度